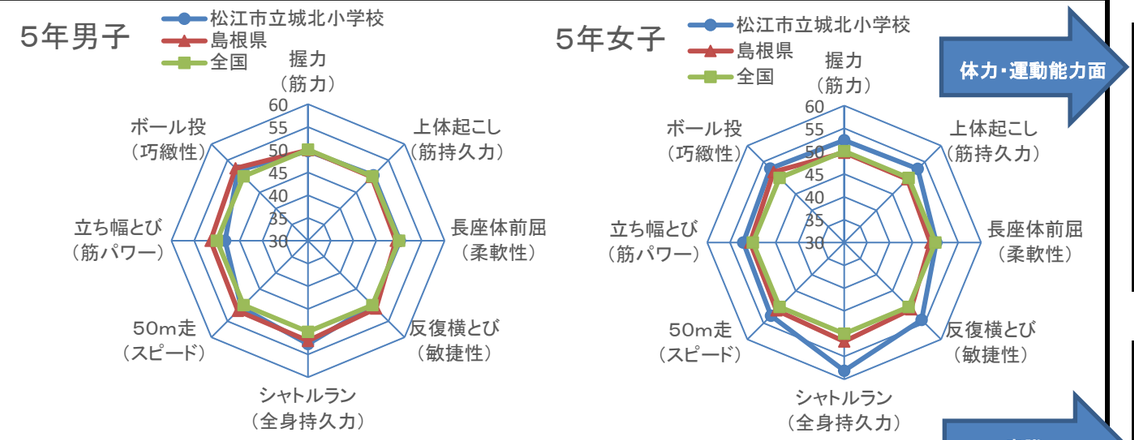
【資料1】

令和5年度　体力・運動能力調査結果及び分析・対策

令和6年3月29日

松江市立城北小学校

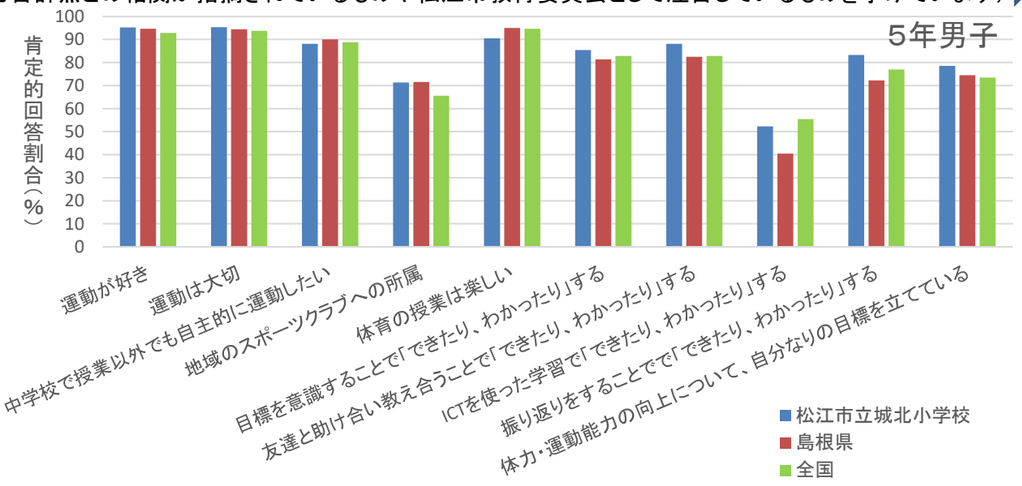
(1)令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果（全国平均を50としたときの比較）

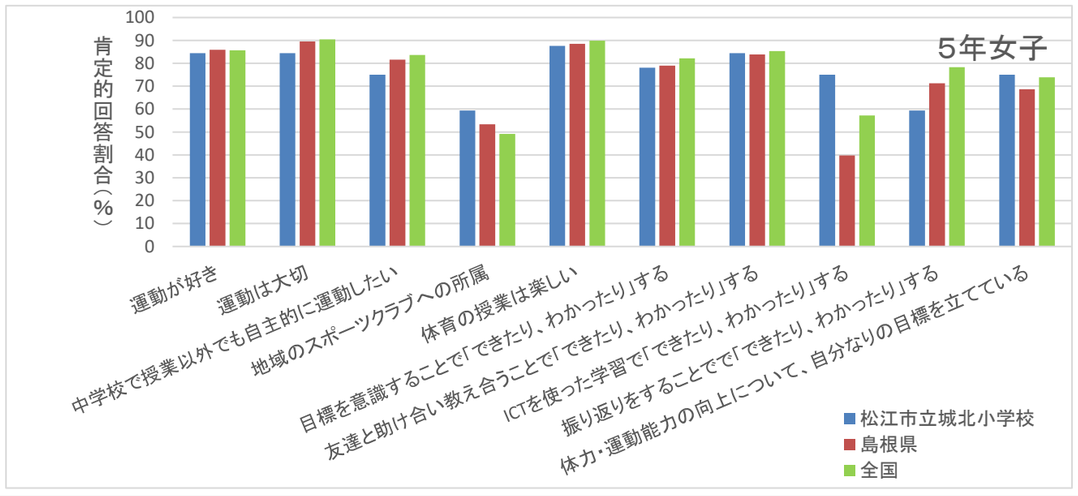


体力・運動能力面

意識

全国体力・運動能力調査、運動習慣等調査＜意識調査＞の結果
（体力合計点との相関が指摘されているものや松江市教育委員会として注目しているものを挙げています）





(2)調査結果の分析

①体力・運動能力面　全国（偏差値）との比較

	握力（筋力）	上体起こし（筋持久力）	長座体前屈（柔軟性）	反復横とび（敏捷性）	シャトルラン（全身持久力）	50m走（スピード）	立ち幅とび（筋パワー）	ボール投（巧緻性）
男子	−0.3	0.3	0.2	0.1	2.7	0.7	−1.8	1.8
女子	2.4	2.8	0.2	4.0	8.1	2.7	2.1	2.9

【−5p以上】	【−5〜−2p】	【−2〜0p】	【0〜2p】	【2〜5p】	【5p以上】
弱み ←					→ 強み

②意識面　全国（割合%）との比較

	運動が好き	運動は大切	中学校で授業以外でも自主的に運動したい	地域のスポーツクラブへの所属	体育の授業は楽しい	目標を意識することで「できたり、わかったり」する	友達と助け合い教え合うことで「できたり、わかったり」する	ICTを使った学習で「できたり、わかったり」する
男子	2.3	1.5	−0.7	5.8	−4.2	2.6	5.3	−3.2
女子	−1.3	−6.0	−8.6	10.2	−2.3	−4.1	−0.9	17.8

	振り返りをすることでで「できたり、わかったり」する	体力・運動能力の向上について、自分なりの目標を立てている
男子	6.3	5.1
女子	−18.9	1.1

【−7%以上】	【−7〜−3%】	【−3〜0%】	【0〜3%】	【3〜7%】	【7%以上】
弱み ←					→ 強み

(3)令和6年度の方針【学校全体での取組】

〇運動量を確保し、全身持久力の向上を目指す。
・本校の課題であるシャトルランについては、重点的に取り組む目標として、半数以上の学年で県平均の数値を上回ることを目指す。
・体育館で授業を行う際には、5種目歩走リレーを継続して行う。（冬季は、学年に応じて5種目歩走リレーに替えて縄跳びを行う。）
・校庭で体育を行う際には、3分間走を継続して行う。
・シャトルランの記録を1学期（5月）と2学期（11月）に1回ずつとり、伸びを比較する。

〇準備運動を工夫する。
・単元の内容に合わせて、準備運動の内容を工夫し、柔軟性や巧緻性の向上を目指す。
・城北じゅんび体そうを基本の準備運動にして、単元の内容に応じて、まつえっこ体操、ねこちゃん体操、しまねっ子！元気アップ・ダンスなどを組み合わせて行う。
・それぞれの準備運動の動画を用意し、職員がいつでも確認できるようにする。

〇体育の授業以外でも学校全体で体づくりに関わる活動を行う。
・「かしこい体づくり」として全校体制で取り組める日常的な活動「城北っ子体そう」を実施し、運動学習の基盤となる体づくりを目指す。
・筋力・体幹を鍛える運動として、全校体制で取り組める日常的な活動「城北っ子パワーアップタイム」を実施し、運動の基盤となる体づくりを目指す。
・「城北っ子体そう」や「城北っ子パワーアップタイム」では、全校でしっかり取り組めるように、まずは教員が前で見本となって正しい動きや児童への声かけができるようにする。そのために、年度初めに職員研修を行う。
・休憩時間を利用し、体育委員会の児童が企画する体を動かす遊びや活動を毎学期実施し、体を動かすことを楽しみ、主体的に運動に取り組む児童を増やしていく。
・体育委員会の児童が企画する体を動かす遊びや活動では、1学期はおにごっこ、2学期はスポーツ教室やボール遊び、3学期は縄跳びというように、年度初めにしっかり計画を立て、見通しをもって活動に取り組んでいけるようにする。また、誰もが楽しめるような内容の活動や遊び、ルールの工夫をし、多くの児童が参加しやすいようにする。